

## 事業活動報告 NO.3

2022年度  
事業活動報告交流会の実施結果

本協会では、公益目的事業に対する理解の促進及び普及を図るため、全国の大学関係者に公益目的事業について理解の普及を拡大するため、事業活動報告交流会を令和4年12月9日、オンラインで実施し、48大学2短期大学の109名、4賛助会員が参加した。

アンケート結果では、32名（教員12名、職員17名、賛助会員3名）の内31名から「参考になった」、1名から「参考にならなかった」との評価であった。以下にアンケートの記述について、主な内容を紹介する。

- ・「大学教育の現状と方向性がデータにより定量的な理解ができ、より多くの情報技術を利用しようと思った。」
- ・「政府の動き（政策・予算）など情報提供していただき、業務に反映させております。」
- ・「他国に遅れをとっている情報教育に関しては、今後益々重要になる教育部門であり、更なる事業展開が期待されます。」
- ・「教学DXを教員にどのように理解していただけるか、資料を基に丁寧に説明を行いたいと強く感じた。特に反転授業の実施は、大学として真剣に向き合うことが必要に感じています。」
- ・「ホームページ上の資料についても、もう少し先生方に使っていただけるような取り組みを進めていきたいと思います。」
- ・「平素より少し疑問に感じていること、強化していかないといけないと感じていることについて1歩踏み出すために自分なりの確認ができたと思います。今後も、このような機会にできるだけ参加ができればと思います。また、Webでの交流会を開催頂きましたことで、参加し易くなり感謝申し上げます。」

などであった。

## 令和4年12月9日(金) オンライン開催、無料

13:30	開会
13:31	会長挨拶
13:40	<情報提供> 「教育DXを活用した学びの強化・充実を考える」
14:05	<事業別報告> 1. 教育・学修方法の改善に向けた活動 ・ 問題発見・解決型教育等(PBL)の研究 (分野連携アクティブ・ラーニング対話集会、分野横断フォーラム型実験授業、思考力等の外部点検評価・助言モデル構想) ・ 私立大学教員授業改善白書
14:30	2. 情報教育の改善充実に関する活動 (情報活用教育コンソーシアムの活動、産学連携「SDGsサイバーフォーラムコモンズ」構想の研究、データサイエンス・AI教育のプラットフォーム)
14:55	3. 大学連携・産学連携による教育支援等の振興・推進活動 ・ 授業目的公衆送信補償金制度に対する課題提起 ・ 産学連携支援事業 (学生による社会スタディ、大学教員の企業研修、産学連携人材ニーズ交流会)
15:25	4. 情報環境の整備充実に向けた活動 ・ 情報化関係補助金予算の要望と概算要求 ・ 私立大学情報化投資額調査
15:45	5. 教職員の職能開発の活動 ・ ICT利用教育改善研究発表会 ・ 教育イノベーション大会 ・ 短期大学教育改革ICT戦略会議 ・ 大学職員情報化研究講習会 ・ 大学情報セキュリティ研究講習会 ・ FD情報通信技術研究講習会など
16:20	<参加者との意見交流>
17:00	閉会